

# 7月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成22年8月17日

- 調査対象店舗 : 21社41店舗(外国人観光客誘致部会委員店)  
(今月より、調査対象店舗が増えております)
- 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれません。

## 1.免税手続きベースの売上および対前年比

- ◆ 売上高総額(41店舗) …… 21億1,626万円余(1店舗平均:約5,162万円)
- ◆ 売上高前年比(41店舗) …… 152.5%

## 2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

- ◆ 購買客数合計(41店舗) …… 38,256人(1店舗平均:933人)
- ◆ 購買客数前年比(41店舗) …… 141.6%

## 3.免税手続き一人当たりの購買単価

- ◆ 一人当たりの購買単価(41店舗) ……55,318円
- ◆ 一人当たりの購買単価前年比(41店舗) ……107.7%

## 4.外国人観光客に人気のあった商品

- 第1位 婦人服飾雑貨 (婦人靴、サイフ、日傘、ハンカチ、ストール、ストッキング)
- 第2位 婦人服 (バーバリーブルーレーベル、アニエスb、ワンピース、カットソー、ツモリチサト)
- 第3位 化粧品 (資生堂、SKII、アルビオン、ファンケル)
- 第4位 ハイエンドブランド (カルティエ、グッチ、シャネル、ルイ・ヴィトン、プラダ)
- 第5位 子供服・雑貨 (ミキハウス、肌着、サンリオ雑貨、おもちゃ)

- ◆ 今月前半は、クリアランスセール目的のお客が多かったため、一人あたりの購買単価が若干下がったものの、来店客数は、7月後半も失速することなくコンスタント伸びた。リーズナブルな婦人衣料品のまとめ買いや、食料品の購入が目立った。(札幌、東京、大阪、福岡)
- ◆ ゲーム、マンガ、サンリオ等の問い合わせが多くあった。また「Made in Japan」の人気の高いことを痛感した。(札幌、東京、大阪)
- ◆ 化粧品は相変わらずの人気であるが、UV対策や美白効果の高いものについてカウンセリングすると迷わずその商品を購入されていた。また、男性がお土産リストに書かれた化粧品を購入される光景も定着してきた。(東京、大阪)
- ◆ 台湾・香港からのお客にはアニエスbやファンケルの人気が高く、中国からのお客にはグッチ、ルイ・ヴィトン等のラグジュアリーブランド及び資生堂の人気が高かった。(名古屋)
- ◆ 婦人・紳士を問わず、バッグ関連の需要が高くその用途も広がった。ハンドバッグ以外に、スーツケース、ビジネスバッグの購入も多かった。(渋谷)
- ◆ 台湾のお客がシャネルの高級時計を購入したり、エルメスで900万円ものご購入があった等、ラグジュアリーブランドの最大取扱高を記録した店舗があった。(池袋、横浜、大阪)

## 5.免税手続きカウンターの来店国別順位

第1位： 中国本土    第2位： 台湾    第3位： 香港    第4位： 韓国

第5位： シンガポール    第6位： アメリカ    第7位： マレーシア

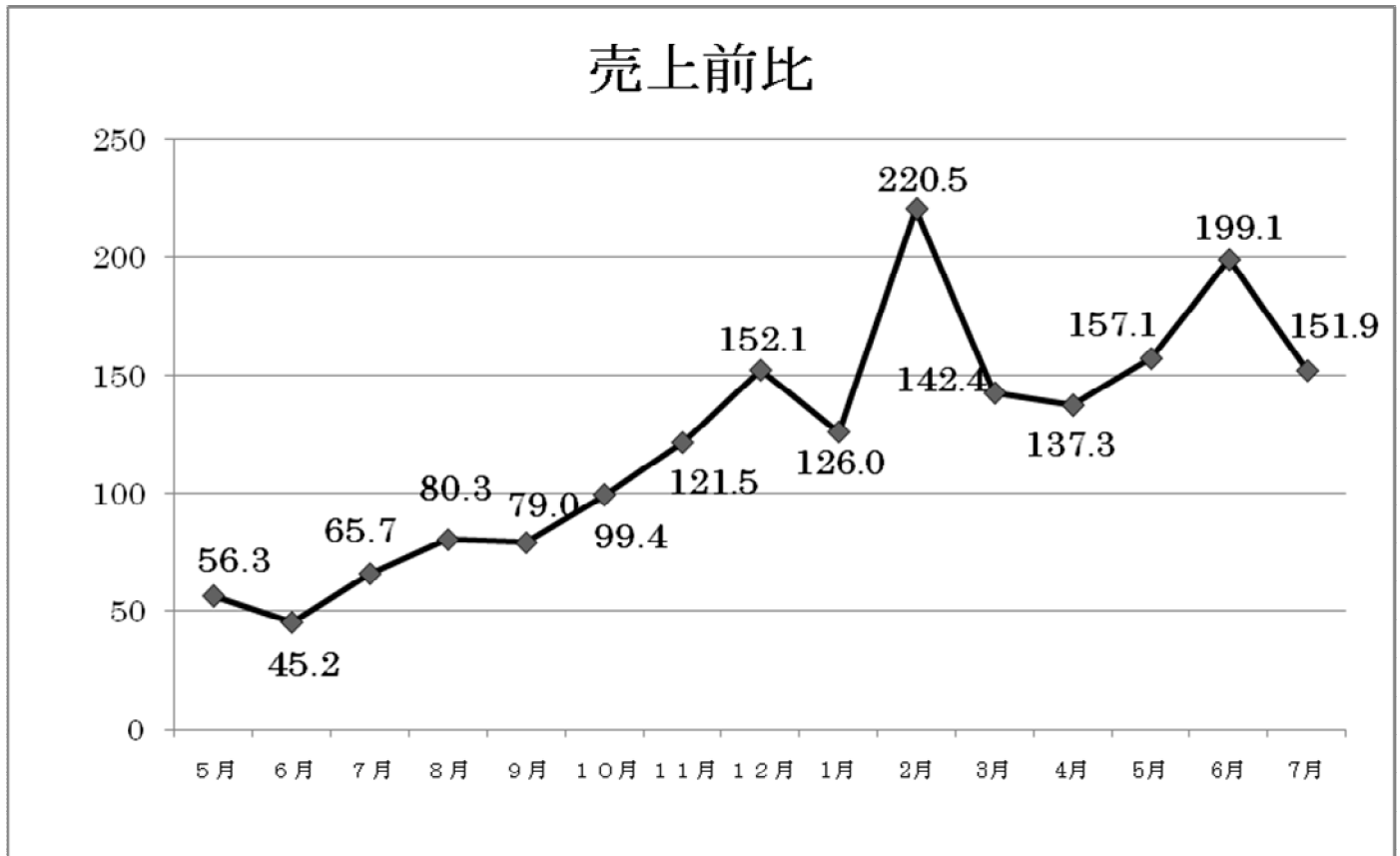
## 6. 今月の概況他

- ◆ 売上、客数とも昨年比を上回り、41店舗中35店舗がプラスに転じた。  
7月からビザ発給要件が緩和されたためか、中国人観光客は団体客だけではなく個人客も目立っており、なかでもご自身で通訳を手配されて旅行をしている方もいた。(新宿、渋谷)
- ◆ 昨年のインフルエンザの影響による反動増により、売上・来店客数とも大きく伸長した。  
また、銀聯カードの取扱高が大きく伸び、700%増の店舗もあった。(新宿、銀座、池袋)
- ◆ 新宿、池袋では、香港からのお客が来店国別順位の第1位で、台湾が第2位となった。  
札幌地区では、シンガポールからのお客が増加傾向にあるとの報告があった。
- ◆ 前年は、クルーズ船の寄港実績が4回だったが、今年は既に14回の実績となり、売上が4倍増となった。また、寄港日によって売上のバラツキがあるものの、ラグジュアリーブランドや宝飾時計等高額商品が動いている。(福岡)  
7月は毎週火曜日に、定期観光船「レジェンド・オブ・シズ」が4回入港したため、売上が大きく伸長した。(鹿児島)

以 上

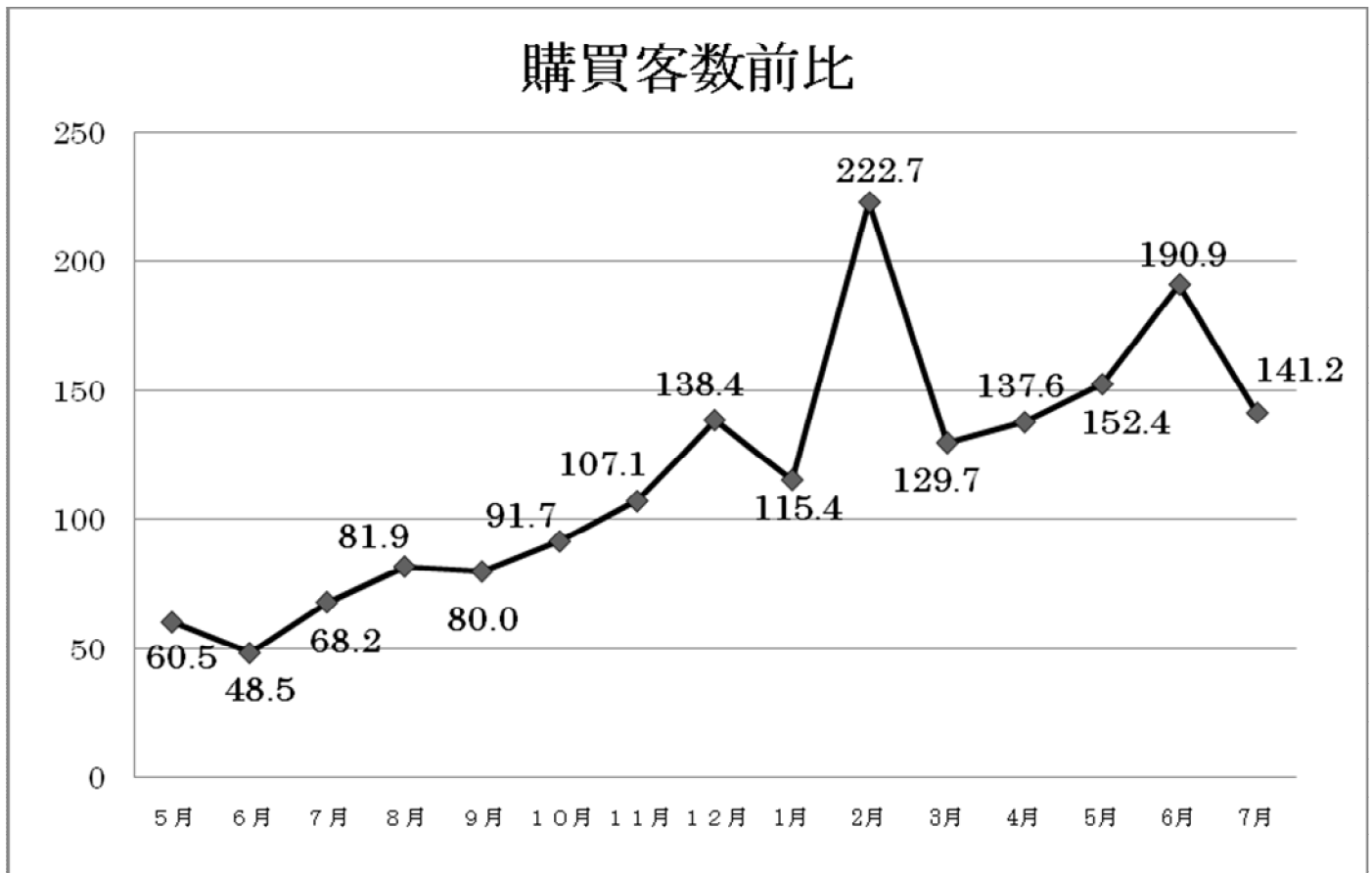
売上前年比 (%)

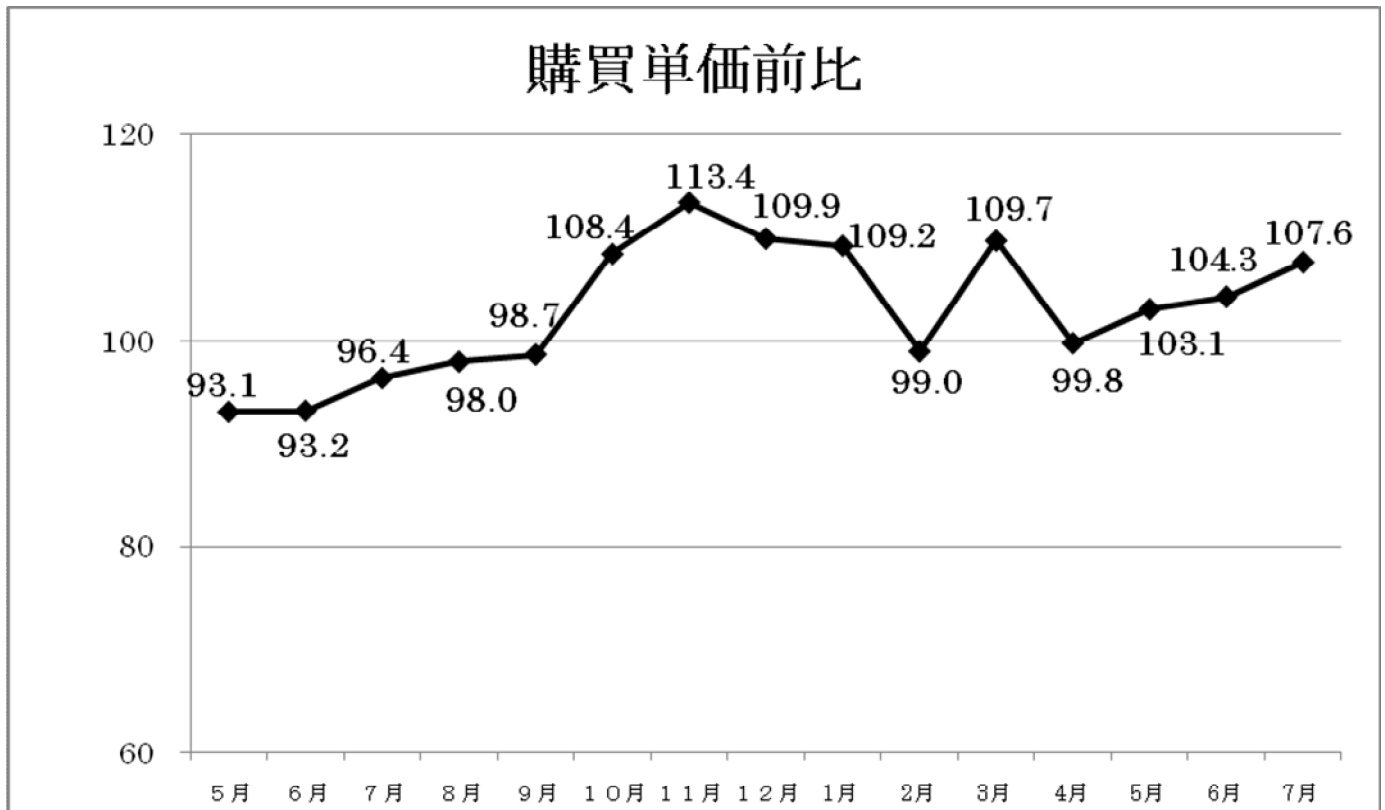
※店舗調整後 (40 店舗)



購買客数前年比 (%)

※店舗調整後 (40 店舗)





【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当 (無断転載を禁じます)

TEL: 03-3272-1666